

会 議 録

第 1 2 回定例会

開会 令和6年10月9日

教育委員会会議録

- 1 開 会 令和6年10月9日 午前10時
- 2 閉 会 令和6年10月9日 午前10時35分

3 教育委員会出席者

教育長	中川 齊史
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	松本 光裕
教 育 次 長	海老名 正規
教 育 次 長	真相 秀也
教 職 員 課 長	西浦 利幸
生涯学習課長	新開 弓子
教育政策課長	内海 はやと
教育政策課副課長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第29号、議案第30号を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第31号 徳島県子どもの読書活動推進計画（第5次推進計画）の策定について》

教育長 説明を求める。

生涯学習課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：今は、子供にはタブレットの方がなじみがいいのかもしれないが、読書によって知識を吸収する時間が増えることを良しとするならば、読書の時間を増やす工夫をする必要があると思う。本を開いて読んでいる割合は減ってきているのか。

生涯学習課長：今回の計画策定にあたり、実態調査をした中で、中高生になると電子と紙の本の両方で読まれる割合が高くなることが確認されている。協議会の委員からも御意見をいただき、今回の計画にも電子書籍の活用について盛り込んでいる。また、授業や学校において図書館を活用していただく仕掛けについても計画に盛り込んでおり、両方に取り組んでいく必要があると考えている。

島委員：タブレットで本を読む際に、目に与える負担があるのではないのか。

教育長：光っているものを見るのがタブレットで、本は反射している光を見るという

違いがある。いわゆるディスプレイとプロジェクターの違いで、プロジェクターは反射しているものを見ているから目に優しく、タブレットはディスプレイであり、直接光を見るので疲れると言われている。

河野委員：学校図書館の開館時間は昼休みや放課後など非常に限られていると思うが、その時間は調査の中でどうであったか。

生涯学習課長：開館時間については調査していない。

河野委員：図書館はたくさん本があり有効な場所だと思うが、開館時間は昼休みや放課後だけでは難しいと思う。部活動の指導等の関係もあり、自習の時間に使うくらいではもったいないので、開館状況などを工夫されたいと思う。

岡本委員：電子媒体の本が出ているのは時代であり、多様なお子さんがいることを考えると導入は必要であるが、紙媒体の書籍を見るということも大事。小さい時から携帯やタブレットを見て、絵本を手にしないお子さんが増えてきていると思われる。小中学生の前の段階の読書活動が非常に大事であり、絵本を読んでいた子供はいつまでも本に親しんでいる。教員は学級の事で精一杯であり、学校図書館の業務を担当することは、大変である。以前勤務した学校は地域の方によって、子供がまた来たいと思える図書館にしてくれていた。地域人材の活用も非常に大事で、読み聞かせと共に図書館運営にも関わっていただくような地域人材の在り方も活用して、活性化していく必要があるのではないか。また、高校や中学校などとの学校間での交流として、大きな子供たちが小さな子供たちに読み聞かせをする活動をするると良い影響が生まれるのではないか。

三木委員：子供が小学校3年生の時にボランティアで読み聞かせを行っていた。日頃は、小学校3年生までの読み聞かせを頼まれていたが、6年生に向けた読み聞かせでも、喜んで集中して聞いてくれて、読み聞かせがきっかけで読んだ本のシリーズの感想を言ってくれた事があり、人の声による読書の波及効果の大きさを実感した。時代と共にデジタル化するのは必要だと思われるが、読書の最初のきっかけは人のぬくもりが大きいと思われる。保護者は子供のためというと基本的に嫌がらず、喜んで参加してくれる方は多いと思われるので、学校と保護者との取組を密にしていくことをお願いしたい。

岡本委員：自分のクラスの子供たちを見た時に、新しい本を見つけたら、積極的に読んでいた子供がいた。本からの知識を得て、そこから自分の世界を広げていく事がとても大事な事だと思うので、予算を付けて是非子供たちに読書習慣を付けて欲しい。

横田委員：計画に書かれているように、「本を読むのが好きでない、苦手である」という人に対して、どのように本を読むようにしていくかの活動として小さい時からの読み聞かせを行ってきているようであるが、本を読まない人や好きでない人への対策が大変重要である。また、指標に書かれていることについて、形骸化しないように、目標の年度ごとに具体的な進捗を共有化して進めて欲しい。

教育長：図書費は各地方自治体に交付税で入っているが、読みたい本がないのは、蔵書数が確保できていないためであり、調査も行い蔵書の目標数もあるが、交付税をそのとおりに使えていないことが多く、そこが課題である。子供が本を読みたくするためには、図書室の環境や敷地における図書室の配置の工夫をして、環境を整える責任があると思っている。

河野委員：大きな中学校であれば、図書室があっても時間的な制限などで生徒が行けないこともあり、学級文庫を設置し、図書委員が選書して朝読に活用していた。また、中学校でもボランティアや学校のOBの方に読み聞かせをしてもらったことがあり、そのような活動があると良い影響があった。

三木委員：図書室は、ある一部の子供たちの逃げ場でもあり、絵本を読んで気持ちを落ち着かせるという役割もあると思われ、そのような側面もあることを理解しながら、色々進めていただきたい。

島委員：最近の子供たちは、「タイパ」と言って時間に対する効果があるかどうかを言い、本を読むと時間がかかるので、動画で知識を得た方がいいのではないかと思う子がいるのではないか。

岡本委員：日々業務に追われており、教員が本を読む時間がないように思われる。

教育長：今後、対応していきたい。

教育長 議案第31号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第31号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第29号 公文書部分公開決定に係る審査請求に対する裁決について》

《議案第30号 人事異動（校長の異動）について》

[閉 会]

教育長

本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前10時35分